

メーリングリスト

メールのない生活なんて考えられないなどという人もいるように、メールはコミュニケーションツールの1つとして、私たちの生活に欠かせないものとなっている。特に、時間と空間を超えられる「メーリングリスト」はコミュニティの決定版と言えよう。そして今、その無限の可能性を活かすべく、究極の無料メーリングリストサービス「FreeML」が誕生した！

インターネットマガジン編集部
Illust: Harada Kaori

の常識を変える!

新生 FreeMLを極める

Jump www.freeml.com

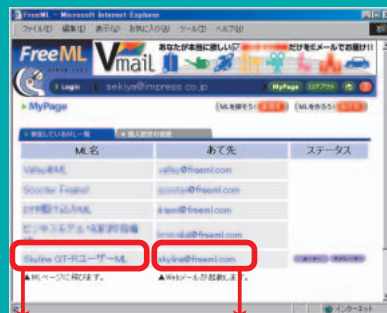


カスタマイズしたページが持てる MyPage 登場!!

FreeMLの新しい機能のうち、注目したいのは登録（310ページ）するともらえる自分専用の「MyPage」だ。トップページからメールアドレスとパスワードを入力してログインすると、自分が参加しているメーリングリストの一覧が見られる。メーリングリストの「あて先」をクリックすれば、ウェブメールがそのまま投稿できるし、「ML名」からは「MLページ」（次ページ参照）へと進める。パスワードやメールアドレスなどの個人情報情報の管理も、フォームに入力するだけで簡単にできてしまう。

ブラウザの設定を「すべてのクッキーを

受け入れる」にしておけば、次からのアクセスは自動で認識されるので、ログインの手間が省ける。



MLページへ

ウェブメールへ

使える機能を一挙に紹介

FreeMLの実力を徹底チェック!

自分の関心のあるテーマについて熱く語り合ったり、グループの連絡網に使ったりと、今までメーリングリストはコミュニケーションの一手段として大いに活躍してきた。だが、いざこれを自分で開設すると、設定や管理のため

にサーバーへややこしいコマンドメールを送らなければならなかったり、費用が必要だったり、誰もが気軽に利用できるサービスだったとは言えないだろう。

しかし、リニューアルしたFreeMLではそれ

らの問題がすべて解消され、実に簡単にメーリングリストを開設できるのだ。もちろん、メーリングリストへの参加方法も極シンプルだ。それでは早速、FreeMLの充実した機能について見ていこう。

全サービス無料

無料でメーリングリストを開設できるサービスは多々あるが、一般に公開しないメーリングリストの場合、費用がかかることも少なくない。FreeMLならプライベートなメーリングリストも含め、すべてのサービスが無料で利用できる。

専門知識のいらない簡単設定ツール

メーリングリストの開設や、実際の運営に関する設定がすべてブラウザから編集できる。これでもう、ややこしいコマンドメールとはサヨナラだ。メーリングリストへの参加や脱退も、ボタンをクリックするだけでOK。

メーリングリストが検索できる

メーリングリストに参加したいと思っても、すべてのメーリングリストの中から、自分の好みに合うものを探し出すのは簡単ではない。しかし、トップページ(前ページ参照)をご覧ください。検索サイトのような見かけはダテでなく、キーワードからメーリングリストを検索できるのだ。

活動状況が一目でわかる

参加したメーリングリストが、実は開店休業状態だったという苦い経験はないだろうか? FreeMLなら参加者の人数や投稿数のランキングが公開されているので、活発にメールがやり取りされているメーリングリストが一目瞭然だ。参加を検討する際の参考にしよう。

メールのログがウェブで読める! MLページを活用せよ

メーリングリスト管理のコアとなるページが「MLページ」だ。ここではメーリングリストの基本情報およびメッセージのログ(履歴)が見られ、さらに参加・運用の設定が変更できる。ここでは特に、メッセージを閲覧できる機能に注目する(なお、管理機能については310、312ページ参照)。

この機能を使えば、メーリングリスト宛てのメールが、すべてブラウザ上で読めるようになる。「メッセージ」タブをクリックすれば、最新のメッセージ一覧が表示されるので、その中から気になるものだけチェックすればよい。設定方法は、MLページの「参加の設定」(312ページ)で、「メッセージの受取設定」に「メールは受け取らずにウェブで見

る」を選択するだけでOKだ。活発なメーリングリストに入ったらいいが、毎日何十通とメールのやり取りをしていては、あっという間にメールソフトがパンクしてしまう。そんな時こそ、この機能を活用しよう。

また、メッセージの過去ログが検索できる機能も強力なツールだ。キーワードを入力すると、その言葉を含んだメッセージの一覧が表示されるので、効率よく情報が集められる。さらに、日付を指定しても検索できる。

「MLページ」の「メッセージ」画面



- 1 最新のメッセージ一覧
- 2 検索ボックス

FreeML 実践講座 1

「開設する」

FreeMLでは、ウェブベースで実に簡単にメーリングリストを作成できる。しかも、今回のリニューアルにあたって、一般に公開しないプライベートなメーリングリストも無料で開設できるようになった。このサービスを利用しない

手はないだろう。

今回は、**A** 誰でも自由に参加できるオープンなメーリングリスト (FreeMLのディレクトリーに登録される。自分の趣味や、関心のあるテーマについてたくさんの人と語り合いたいと

き)と、**B** 一般に公開しないプライベートなメーリングリスト (FreeMLのディレクトリーに登録しない。内輪のグループで情報交換をしたいとき)の2つに分けて、作成の流れを紹介していこう。

何はともあれまずはユーザー登録

メーリングリストを開設するには、ユーザー登録が必要だ。参加だけなら登録する必要はないが、自分専用の「MyPage」(308ページ)が使えるようになったり、メーリングリストへの参加・退会が簡単にできる

ようになったりするので、ぜひとも登録することをおすすめする。

- 1 自分のメールアドレスと希望のパスワード、郵便番号、生まれた年、性別を入力する。
- 2 送信すると登録したアドレス宛てに確認のメールが届く。メールに書かれたURLにアクセスすると、「ユーザー登録が完了しました」というメッセージが表示され、これでめでたく「登録完了」。

それでは
早速
開設
しよう!

STEP 1

ログインする

www.freeml.com/list.cgi

トップページの「作る」をクリックすると、ログイン画面になる。登録したメールアドレスとパスワードを入力しよう。

ML ページで楽チン設定 ~ 運用編 ~

MLページのトップ(前ページ参照)から「運用の設定」タブをクリックすると、詳細な設定ができる画面にジャンプする。ここで何が設定できるのか、詳しく見ていこう。

a 参加者の管理

参加者の一覧が見られ、メールアドレスで検索もできる。また、参加者の追加や削除もこの画面から行える。

b モデレーターの登録・削除

「モデレーター」とはメーリングリストの共同運営者。参加者が多いときなどは、必要に応じて任命し、オーナーの負担を軽くしよう。

c 運営方針の変更

開設する際に登録した公開方法の設定(311ページSTEP2参照)の変更を行う。さらに、コマンドメールを無視するかどうかなども設定できる。また、メーリングリストの解散手続きは、このページの画面一番下にある「削除」ボタンをクリックすればよい。

d メッセージ、参加者の承認

参加希望者や承認待ちのメッセージが一覧表示され、「保留」「承認する」「承認しない」の3つの対応が選べる。

e メッセージの削除

内容が不適切な投稿は、メッセージ番号を入力するだけで削除できる。

f 基本情報の変更

開設する際に登録した基本情報(311ページのSTEP2参照)の変更を行う。さらに、メーリングリストへの招待・加入案内のメールに表示するメッセージなども設定できる。

A 一般に公開する メーリングリスト

希望のメーリングリストのアドレス（メンバー全員宛てのアドレス）を入力する。メンバーが覚えやすいアドレスにしよう。

メーリングリストの名前を決める。

「選択」をクリックすると、ジャンルを決める「カテゴリ選択画面」の別ウィンドウが開く。カテゴリもディレクトリー構造になっている。

検索の結果など、メーリングリストが一覧で表示されるときには、リスト名とこの文章が紹介される。ほかと差のつく粋な文章を考えよう（全角で20文字以上100文字以内）。

ここで書いた文章は、MLページ内の「ML情報」で紹介される。上の「紹介文」より詳しい情報を提供するとともに、ユーザーの関心を強くひく内容にしたい（全角で60文字以上1000文字以内）。

「する」を選択。

通常は「参加者のみに公開」を選ぶ。一方、参加者以外の人々がメッセージを見てもよいときは、「一般に公開」を選択しよう。ここで注意しておきたいのは、「保存しない」を選ぶとメッセージのログが残らなくなってしまう点。当然、検索機能も使えなくなる。

参加に制限を設けるかどうかを設定する。初期設定ではオーナーがモデレーター（共同管理者）を兼任するが、参加者の中から新たに任命もできる。

通常は「参加者のみMLにメールを送れる」を選ぶ。参加者以外の投稿も受け付ける場合は、上の「メッセージ」の設定で「一般に公開」を選び、さらにここで「誰でも送れる」を選ぶ。

STEP 2 基本情報・公開方法を 設定する

希望のMLアドレス: skyline@freeml.com

ML名: Skyline GT-R ユーシー

カテゴリ: 趣味・スポーツ >> 自動車・バイク

MLの紹介: Skyline GT-Rについての情報や意見交換など

MLの詳細説明: ことなくGT-Rを愛する人達のためのメーリングリストです。オーナー以外でも、興味のある人はどしどし参加して下さい。

ディレクトリー: MLをディレクトリーに表示 する しない

メッセージ: 参加者のみに公開 一般に公開 保存しない

MLの参加設定: 誰でもMUに参加できる ML参加にモデレーターの許可が必要

MLの投稿設定: 参加者のみMUにメールを送れる MLへの投稿にモデレーターの承認が必要 モデレーターのみMUにメールを送れる

MLを開談する リセット

B 一般に公開しない メーリングリスト

メーリングリストのアドレス（メンバー全員宛てのアドレス）にしたい文字を入力する。メンバーが覚えやすいアドレスにしよう。

メーリングリストの名前を決める。

一般に公開しないメーリングリストでも、この「カテゴリ選択」までは必須。ディレクトリーに登録されるわけではないので、厳密に設定する必要はないだろう（操作方法はA参照）。

ここで書いた文章が、メーリングリスト名とともにディレクトリーに表示される。プライベートなメーリングリストはディレクトリーに登録する必要がないので、入力しなくてもよい（全角で20文字以上100文字以内）。

MLページ内の情報画面で、メーリングリストの説明にあたるのがここで入力した文章だ。上の「紹介文」同様、この入力も必須ではない。ごく内輪のメーリングリストの場合など、わざわざ情報を提供する必要がないときは入力しなくてもよい（全角で60文字以上1000文字以内）。

「しない」を選択

「参加者のみに公開」を選ぶ（「保存しない」についてはA参照）。

「モデレーターの許可が必要」を選択。

「参加者のみメールを送れる」を選ぶ。

- メーリングリストのアドレス
× @freeml.com
- オーナーのアドレス
owner- × @freeml.com

MLの作成が完了しました。

これで、MLの作成手続は完了です。

ここで参加者登録をおこなう場合は、このページ下段から参加者の追加が可能です。なお、MLオーナーのあなたのアドレスは既にML参加者として登録されています。

その他ML運用上の各種設定をおこなう場合は、MLページへどうぞ。

ML運用上の各種設定 MLページへ

完成!!

MLページへ

FreeML 実践講座 2

「参加する」

メーリングリストを利用したことがなく、いきなり作るのちょっと...という人は、まず自分が関心のあるメーリングリストに参加してみ

てはどうだろうか？ 現在、FreeML で公開されているメーリングリストは、その数なんと7000以上！

きっとあなたの好みにマッチするメーリングリストが見つかるはずだ。

好みのジャンルを探す



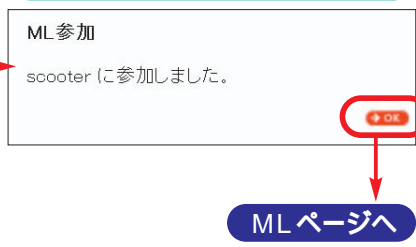
トップページのディレクトリーを下りていくか、もしくは内容がある程度絞られているなら、キーワードで検索すると早い。

内容を吟味する



内容をチェックし、本当にこのメーリングリストに参加しても良いと思ったなら、「参加」をクリック。

完了!!



もう一度確認のメッセージが表示されるので、そこでもう一度「参加」を選ぶ。この時点で参加手続きが完了する。同時に、登録したメールアドレス (310 ページ) に、その旨を知らせるメールが届く。

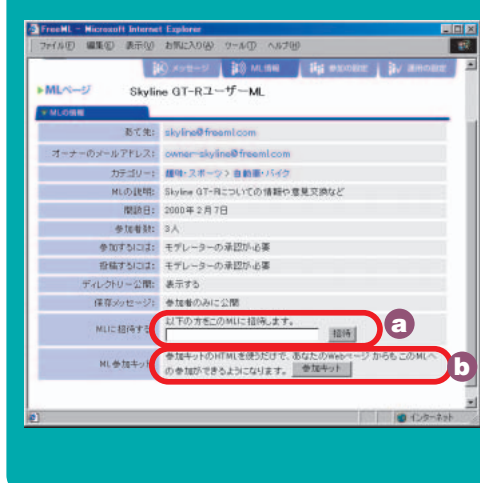
メールソフトから投稿する

FreeML で簡単にメーリングリストの設定・管理ができるのはウェブベースならではの利点だ。しかし、そうは言ってもメールを受け取るメールソフトから、そのまま投稿する機会も多いだろう。そんなときは、宛先をメーリングリストのアドレス (x @freeml.com) にして送信すればよい。メーリングリストのアドレスはアドレス帳に登録しておくといいだろう。また、FreeML では、一部コマンドメールにも対応しており、参加・退会・配信の一時停止などの処理が行える。

退会したくなったら

人の心は移ろいやすいもの。参加した頃の情熱が冷めてしまったり、自分の想像と活動内容が違っていたり...と、楽しいはずのメーリングリストが、逆に重荷になってしまうことも。そんなときは、思いきって退会に踏み切ろう。退会の手続きは、「ML ページ」から「参加の設定」画面にジャンプし、「退会」ボタンをクリックすれば完了 (コマンドメールでも手続き可能)。メーリングリスト宛てに退会方法を問い合わせるメールを送ったりして、オーナーやメンバーの手を煩わせることは避けたい。

ML ページで楽チン設定 ~ 参加編 ~



ML ページでは参加方法の設定も変更できる。「参加の設定」タブをクリックし、必要に応じて行おう (309 ページ)。また、メーリングリストは参加者が多ければ多いほど盛り上がるもの。メーリングリストのPR 活動に役立つ機能も紹介しよう。

a 紹介制度
「ML 情報」のページからは、メーリングリストへの招待のメールを送れる。参加してほしい人のアドレスを入力し、「招待」をクリックするだけでOK だ。相手にはメーリングリストの紹介と参加方法を書いたメールが送られる。

b ML 参加キット

同じく「ML 情報」のページでは、下の画面にあるような参加フォームのHTML ソースも提供されている。これを自分のホームページに埋め込めば、ホームページからもメーリングリストへの参加が呼びこめる。

```

ML参加キット HTMLソースコード
<FORM ACTION="http://www.freeml.com/regist.cgi"
METHOD="post">
<INPUT TYPE="hidden" NAME="ml" VALUE="scooter">
<TABLE WIDTH="380" BORDER="0" CELLPADDING="0"
CELLSPACING="0">

```

表示例

メーリングリストは情報の宝庫

FreeMLを情報ステーションに

これまでで、FreeMLを使えばいかに簡単にメーリングリストを利用できるかがおわかりいただけたと思う。FreeMLは、我々ユーザーとメーリングリストとの間にあった壁を完全に取り払ってくれた。

そこで今、コミュニケーションツールとしての機能に加え、さらに一歩進んだメーリングリストの活用方法を考えたい。そう、情報がリアルタイムで流れるメーリングリストこそ究極の情報源と言えないだろうか？ たとえば仕事で

新規の案件に取り組むとき、ウェブで情報を集めるのもよいが、メーリングリストに参加（場合によっては開設）すれば、その道のエキスパートたちから、一段と濃い情報を得ることだってできる。

つまり、メーリングリストに参加することは、お抱えの「ブレン集団」を得ることに等しい。インターネットが当たり前となった今、これからはメーリングリストを使って情報を集める時代なのだ！



interview

目標はメールメディアナンバーワン!!

フリーエムエルドットコム㈱は、㈱ネットエイジで運営していた「FreeML」の運営をスピンオフさせ、インターキュー㈱と㈱ネットエイジによって新たに設立されたジョイントベンチャーだ。最後に、同社代表取締役社長の広末紀之氏と技術担当取締役の河野吉宏氏、さらにインターキュー㈱代表取締役社長の熊谷正寿氏に話を聞いた。

FreeMLの魅力

「一番の強みは初心者にも簡単な設定管理ツールだと思います。従来のコマンドなど難しいものではなく、誰にでもわかるインターフェイスに関しては、お客様からも好評を得ていますし、他社よりも優れていると自認しています。また、全サービスが無料であるということも大きなファクターです。ほかには、公開型のメーリングリストが多いという点も、特徴として挙げられるでしょう」（広末氏）

「システム面では、ダウンさせないよう、常に安全性重視の姿勢で取り組んでいます。お客様にサービスを提供するのは、何十時間もテストした後なんですよ」（河野氏）

コミュニティの決定版

「メーリングリストを使えば、地理的・時間的制約を超えてコミュニケーションができ

ます。そういった制約がある方にこそ、メーリングリストのすばらしさを感じていただけたらと思います」（広末氏）

「インターネット上のコミュニティーというと、チャット、掲示板、メーリングリスト、インスタントメッセージが挙げられます。その中で、時間の制約を超えられるのが掲示板とメーリングリスト。しかし、掲示板はウェブベースなので重いし、多くは過去ログを検索することができません。消去法的に考えていくと、コミュニティーの決定版はメーリングリストではないかと思っています。メーリングリストが一般化してからの歴史はまだ浅いので、これからお客様の手によってどんどん活用方法を拡大していただきたいと思いますね」（熊谷氏）

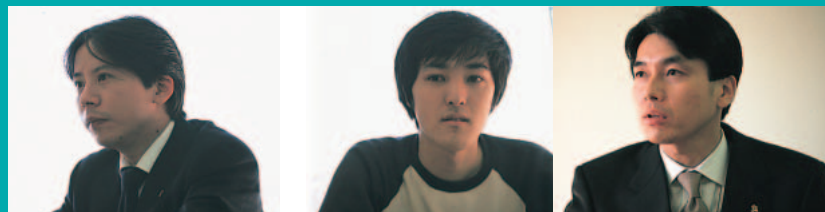
メールメディアNo.1を目指す

「まず何よりも、FreeMLという素晴らしいサービスを使ってもらうこと、ユーザー数を増やすことが最優先です。そのうえで、ユ

ーザーの皆さん自身の手でこのサービスを育てていってもらえたらと思います」（広末氏）

「メーリングリストという難しいイメージがあると思うので、インターフェイス自体を初心者向けに、誰にでも使ってもらえるような形に改良していきたいです」（河野氏）

「インターネットの発展形態を考えると、次に来るのは広告サービスだと思うのです。しかし、広告ビジネスをオセロの盤にたとえらば、正直なところ四角のうち二角はヤフーさん、もう一角はマイクロソフトさんに抑えられている。残された最後の一角は何かと考えたときに、それはメールだと思いました。ブラウザよりもメールソフトのほうが長時間使われているのに、メール広告で勝負しようと考えている会社は少ないんですね。FreeML、まぐクリック、クリックメールといったグループ会社のそれぞれよいところを活かしていきながら、相乗効果でメールメディアにおける圧倒的なナンバーワンの地位を確立させていこうと考えています」（熊谷氏）



広末紀之氏

河野吉宏氏

熊谷正寿氏



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp